

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 3名回答、回答率 100%
保護者様： 24名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・スペースを区切って体を動かして遊ぶ場所、ゆっくり落ち着いて過ごす場所など分けている。
- ・トイレ前の段差でつまづく恐れがある為、声掛けを行っている。
- ・送迎時にスタッフ体制が厳しくなる場合は、送迎調整や配置検討を行い、体制を整えている。

○業務改善

- ・気づいた事を常に共有し、良い支援をする工夫を凝らしている。
- ・業務前ミーティングを実施し、共有を徹底し改善できないか個人で考えるのではなく教室全体としてどうしたらいいか意見を出し合う場が確保されている。

○適切な支援の提供

- ・研修では教室内で支援について振り返る内容もあり、スタッフ一人一人の支援についてフィードバックがあり改善に繋がられている。
- ・送迎時や面談の際に常に意見交換をするように心がけている。
- ・毎月子どものニーズを聞き、違った内容の療育活動を取り入れている。
- ・活動の中でもレベル感の違う児童10名でも全員参加ができる様スタッフ全員で意見を出し合いながら、レベルに応じたチーム分け等を行っている。

○関係機関や保護者との連携

- ・送迎、家庭連携、面談のタイミングを使子どもの現在の状況の意見交換を行っている。
- ・家庭連携や事業所内連携を行い、保護者への近況報告やご家庭での様子を共有頂いている。

○保護者への説明責任等

- ・保護者会の実施は感染症の流行もあり困難になっている。
- ・毎月ニュースレターを発行している。

○非常時等の対応

- ・月に1度利用者も参加の上で避難訓練を行っている
- ・地震・火災・津波・不審者等の緊急時を想定した避難訓練を月毎にどの曜日の児童も訓練できるよう企画を組んでいる。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・広い方がよいにこしたことはないと思う。
- ・中学生もいる時があるので、少し狭い気がする。
- ・数もそうだがどのように関わってくれているかが問題だと思う。

上記のようなご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・いつも楽しい活動内容を考えてくださり感謝しております。
 - ・毎日違うプログラムを企画するのは本当に大変だと思います。季節に合わせた企画いつも感謝です。
 - ・丁寧できめ細やかな対応をして頂いております。ただ、スタッフの方の人員が以前より少なくなりスタッフの方は大変だと思っています。
- というご意見をいただいた。

○保護者への説明等

- ・コロナ前には保護者も入れたイベントがありましたが、いまだ再開していません。

○非常時等の対応

- ・毎月避難訓練を行っている。

○満足度

- ・苦情等を申し上げるようなことはないです。いつも大変良くしていただいております。
- ・とても楽しみにしておりますと満足度の高いご意見を8割以上いただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・感染対策を行ったうえでの保護者間での情報共有が行える企画を設定する。
- ・ワークショップなどの企画を多く設定することでスタッフと保護者の交流の場を設ける。
- ・ブログやお便りを活用し、ニュースレターや連絡帳以外で日頃の様子をお伝えする。
- ・保護者会実施の方法を、お便り等様々な手段を検討し、開催に向けて取り組んでいく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・ブログや長期休暇休みのお便り等を通して、日頃の様子をお伝えする事ができたが、より詳細に伝えるための手段を考える必要がある。
- ・昨年度に引き続き保護者会の実施が出来ておらず教室の様子の報告が少なかったり、スタッフや保護者同士の交流を行う機会が設定できていない。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・事業所の支援満足度が高く、通所を楽しんでいるといったご意見を多くいただいた。
- ・毎月違った療育活動を取り入れる事で、児童通所のモチベーションにつなげると共に、保護者様から満足度につなげることが出来ている。

○改善点

- ・昨年度に引き続き保護者会の実施が出来ていない為、保護者同士での交流や情報共有の場を設定する。
- ・ブログの更新頻度を高める、ニュースレターで先月の活動報告をすることでより教室での様子を詳細をお伝えしていく。
- ・安心して通所頂くために、教室についての周知の仕方を送迎時等直接お話が出来るタイミングでのご挨拶だけでなく、お便り等通じてお知らせをし、ご利用者様が安心して通所をしていただけるように配慮をしていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・教室の体制、環境を整えたうえで、保護者・お子様に安心して通っていただける教室運営・教室づくりを行っていく。
- ・長期休み・特別開室では、「お買い物に行こう」や、「シャボン玉遊び」等の課外活動を多く取り入れ身体を動かしたり、ジュニア教室など他教室との交流をする事で、他者や社会との繋がりを作る。

○1年間で取り組む具体策

- ・保護者間での情報共有が行える企画を、設定する。
- ・特別開室では、保護者も参加が可能な療育を実施しスタッフ・保護者の連携をする
- ・日頃の様子を伝える場をブログだけでなく、お便りや保護者会等を実施する。
- ・保護者・児童にニーズを送迎時・面談の機会を通して、常に聞きより良い支援につなげて行けるようにする。

スマートキッズ